

QST 病院医療用空気圧縮機更新工事

仕様書

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構
Q S T 病院運営管理部

目 次

1. 工事概要	
(1) 工事名称	1
(2) 工事場所	1
(3) 工期	1
(4) 工事目的	1
(5) 工事種目	1
(6) 工事概要	1
(7) 設計図	1
(8) 別途工事	1
2. 工事仕様	
(1) 共通仕様	2
(2) 特記仕様	2
ア. 一般共通事項	2
(ア) 支給品	2
(イ) 工事用電力	2
(ウ) 工事用水	2
(エ) 管理区域作業	2
(オ) 材料置場等	2
(カ) 提出書類	2
(キ) 設計変更	2
(ク) 下請業者等	3
(ケ) 官庁手続	3
(コ) 発生材の処分	3
(サ) その他	3
イ. 工事種目別特記事項	4
(ア) 空気圧縮機更新工事	4
(イ) 配管工事	4
(ウ) 電気工事	4
(エ) 撤去工事	4
3. 試験・検査	
(1) 一般事項	4
(2) 試験・検査	4
(3) 試験・検査項目	5
別紙 試験・検査区分表	

1. 工事概要

(1) 工事名称	QST 病院医療用空気圧縮機更新工事
(2) 工事場所	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 QST 病院 地下 1 階 コンプレッサー室
(3) 工期	契約日から令和 8 年 11 月 30 日までとする。
(4) 工事目的	本工事は、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「量研」という。）QST 病院の施設設備において、当該機器が耐用年数を超過しており故障発生時に患者の生命を脅かす可能性がある事から医療ガス委員会にて更新推奨とされた、以上のことから更新工事を行う。
(5) 工事種目	ア. 空気圧縮機更新工事 1 式 イ. 配管工事 1 式 ウ. 電気工事 1 式 エ. 撤去工事 1 式
(6) 工事概要	ア. 空気圧縮機更新工事 新設空気圧縮機の更新を行う。 イ. 配管工事 更新配管の塗装他を行う。 ウ. 電気工事 電流計及び配線材料量の更新を行う。 エ. 撤去工事 空気圧縮機の更新に伴い既設空気圧縮機の撤去を行う。
(7) 設計図	あり（3 枚） 図面番号：QST-M01、QST-M02、QST-M03
(8) 別途工事	なし

2. 工事仕様

(1) 共通仕様

本工事仕様書及び図面に記載されていない事項は、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（最新版）」、「公共建築改修工事標準仕様書（最新版）」及び「公共建築設備工事標準図（最新版）」によるものとする。

(2) 特記仕様

ア. 一般共通事項

- (ア) 支給品
なし
- (イ) 工事用電力
別途協議とする。
- (ウ) 工事用水
別途協議とする。
- (エ) 管理区域作業
なし
- (オ) 材料置場等
- a. 材料置場等は無償貸与とする。
 - b. 材料置場等の設置については、あらかじめ量研監督員と打ち合わせ、承諾を得るものとする。
- (カ) 提出書類
- a. 工事日報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
 - b. 竣工図書
- 工事が竣工した際に作成する竣工図は以下のとおりとする。
- ただし、工事内容又は工事規模により作成要領が異なる場合があるため、量研監督員と打ち合わせるものとする。
- (a) 竣工図① ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3部
 - i 設計図に準じた図面等（機器仕様表を含む）を内容とする。
 - ii 製本サイズは、A4版とする。
 - iii 装丁は、原則として黒表紙に金文字で工事名称等を記入する。
 - (b) 竣工図② ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
 - i 内容は前記の竣工図①と同様とする。
 - ii 製本サイズは、A4版とする。
 - iii 装丁は、簡易製本として表紙に工事名称等を記入する。
 - (c) 竣工 CAD データ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
 - 竣工図①と同じ内容を dwg (AutoCAD) 形式若しくは、 dxf 形式で CD に記録して提出する。
 - c. 工事写真 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1部
 - (a) 撮影箇所
 - i 工事竣工後では確認困難な箇所。
 - ii 埋設される工事で、長さ、厚さ等明確な寸法で確認を要する箇所。
 - iii 設計変更の部分。
 - iv その他主要な工程あるいは量研監督員の指示する箇所。
 - (b) 写真サイズ
原則としてカラー写真（E版）とする。
デジタルカメラで撮影する場合は、国土交通省デジタル写真管理情報基準（有効画素数 100～300 万画素程度）以上の仕様とする。
 - (c) 装丁
写真は、撮影箇所及び作業内容を表示するとともに、表紙に工事名称等を明記したアルバムに貼付して提出する。
 - d. 官庁申請に必要な書類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 必要数
 - e. 各種試験検査記録表類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 各 1 部
提出媒体（紙・CD等）
 - f. 施工図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 各 1 部
 - g. 提出書類 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 必要数
工事書類提出指示書に示す書類を遅延なく提出すること。
 - h. 産業廃棄物管理票 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 各 1 部
 - i. その他量研監督員が指示するもの ・・・・・・・・・・・・・・・ 必要数

(イ) 設計変更

- a. 設計変更が生じた場合の数量の増減に用いる工事費単価は、当初に契約した工事費明細書に記載してある単価に基づき決定するものとする。
- b. 新たな項目を追加した場合の工事単価は、両者協議のうえ決定するものとする。
- c. 設計変更に関する共通費は、設計変更により増減する直接工事費について増減するものとする。
- d. 工事数量の計算は、量研作成の図面ないし、量研の承諾した請負業者作成の施工図及び測量図により行うものとする。
- e. 数量は、全て製品（仕上がり）の数量（重量）による。

(カ) 下請業者等

- a. 指定の業者あるいは品目仕様については、代替を認めない。また、各種下請業者についても必ず量研監督員の承諾を得た者でなければならない。
- b. 建設業法に基づく施工体制台帳を作成した場合は、施工体制台帳及び施工体制図を量研監督員に提出する。

(ケ) 官庁手続

請負業者は、量研が各種検査（手続き含む）を受ける場合は、申請書及び資料（計算書等を含む）の作成及び労力の提供を含め全面的に協力しなければならない。

(コ) 発生材の処分

- a. 発生材（撤去品等）は、鋼材及びその他に区分し、量研指定場所に整理し引き渡す。
- b. 発生材のうち保温材等については請負業者が「再生資源関連の法律」に基づき処理するとともに、産業廃棄物管理票を提出する。

(サ) その他

- a. 請負業者は、工事が竣工しても量研の検査に合格し、引き渡しが完了するまではその工事目的物を管理しなければならない。また、その工事目的物に他の工事を行うときは、協力するものとする。
- b. 本工事は、原則として工事仕様書及び添付図面に従って施工するものであるが、些少の部分であって一切記載していない事項といえども当然必要と認められるものは、量研監督員と協議のうえ受注者の負担において確実に施工するものとする。
- c. 本工事施工の際は、建物、地下埋設物及び室内の器物等を毀損しないように注意するとともに、万一毀損した場合は量研監督員の指示に従って同等の材料にて速やかに復旧するものとする。
- d. 本工事に使用する材料を搬入するときは、量研監督員の指示する位置に整理し、その保管は責任をもって行うものとする。
- e. 作業は、下記の規則を遵守しなければならない。

(ア) 建築基準法

(イ) 消防法

(カ) 機械設備に関する技術基準を定める省令及びその解釈

(ド) 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編、電気設備工事編）
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版)

(エ) 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編、電気設備工事編）
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版)

(フ) 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編、電気設備工事編）
(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修・最新版)

(ガ) 日本工業規格（JIS）

(ハ) 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）

(イ) 日本電機工業会規格（JEM）

(ジ) 日本電線工業会（JCS）

(ケ) 電気技術規程（JEAC）

(リ) グリーン購入法

(ム) 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構千葉地区 電気工作物保安規程

- f. 量研が行う別途工事とのトラブルがないよう、量研監督員との連絡を密にとり、工事全体の円滑な推進に協力するものとする。
- g. 工事に必要な諸手続（法令上及び所内規程）は請負業者の責任において行うこと。なお、詳細については量研監督員と協議をするものとする。

- h. 工事で使用する機器は、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（以下、グリーン購入法）」に定められた基準の機器を積極的に使用するものとする。
 - i. 本工事で火気使用に当たっては、適切な防火対策を講ずること。
 - j. 本工事で使用する測定機器類は、校正されたものを使用すること。
 - k. 本工事の着工前には、必ず実施工程表、施工図を提出し量研監督員の承諾を得ること。
 - l. 工事の実施に当たっては、関係法令ならびに量研内規その他関係諸規定等を遵守し、特に工事の安全には十分配慮し実施すること。
 - m. 工事進捗に際し、綿密な計画による工程を組み、工事材料、労働安全対策等の諸般の準備を行い、工事の安全、かつ、迅速な進捗を図ること。また、作業進行上、既設物の保護に留意し、そのために必要な処置を講ずるとともに、災害や盜難その他の事故防止に努めること。
- また、量研の業務は特殊性に富んでいることを十分に認識し、構内の作業でトラブル（人身事故、火災等）を発生させた場合、たとえそれが些細なものであっても外部に与える影響は甚大なものであり、国民の信頼を損ねることがないよう、安全衛生管理には特に注意を払うこと。トラブル以外として、工事に伴って発生する煙、排水、音、におい等が、量研の通常業務において見られないものであれば、周辺住民に不安感を与えることに十分留意し、その懸念がある場合には、作業方法について量研と綿密に協議すること。
- n. 本工事は、現場代理人を常駐させることとする。

イ. 工事種目別特記事項

- (7) 空調設備設置工事
 - ・コンプレッサー：オイルフリー式 2.2kw AC-GC 200V 3φ ×2台
 - ・フレキシブルチューブ 15A ×2本
 - ・系統用シャットオフバルブ 20φ 組立 ×2組
- (4) 撤去工事
 - ・既設空気圧縮機他 ×1式

3. 試験・検査

(1) 一般事項

- ア. 試験・検査はあらかじめ「試験・検査要領書」を提出し、量研監督員の承諾を得た後、実施する。
- イ. 試験・検査要領書は法令、規格、基準等に定められた用件を満たすとともに、設計図書内容を確認出来るものとする。
- ウ. 試験・検査が完了したときは、速やかに試験・検査記録を含む「試験・検査報告書」を提出する。
- エ. 量研監督員の立会の有無にかかわらず、全てのデータを整理して提出する。
- オ. 試験・検査の立会
 - (ア) 別途定める項目について立会試験・検査を行うものとする。
 - (イ) 事前に、試験・検査項目、日時及び場所などを量研監督員に通知するものとする。
 - (ウ) 試験・検査に必要な機材及び労力は全て請負業者が負担するものとする。

(2) 試験・検査

ア. 工場試験・検査

なし

イ. 現地試験・検査

据付完了後、別紙「試験・検査区分表」に基づいて、試験・検査は全て請負業者の責任において実施するものとする。

ウ. 竣工検査

上記検査のほか、工事請負契約に伴う工事が竣工したとき「竣工検査」を実施するものとする。

(3) 試験・検査項目

別紙「試験・検査区分表」によるものとする。

別紙 試験・検査区分表

No.	試験・検査対象項目		材 料 検 査	外 観 検 査	寸 法 検 査	耐 圧 漏 洩 検 査	満 水 試 験	通 水 試 験	作 動 試 験	性 能 試 験	浸 透 探 傷 試 験	据 付 検 査	絶 縁 抵 抗 試 験	絶 縁 耐 電 圧 試 験	溶 接 部 外 観 検 査	配 置 員 数 検 査	系 統 検 査	備考
1	コンプレッサー		工場試験・検査															
	現地試験・検査		◎	◎	◎			◎	◎		◎	◎		◎				
2	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
3	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
4	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
5	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
6	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
7	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
8	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
9	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	
10	工場試験・検査																	
	現地試験・検査																	